

種名	ニラ Allium tuberosum Rottl 				
	分類	被子植物単子葉植物綱ユリ科	俗称		生活型 多年草
分布	日本では古くから栽培され逸出種として各地で分布する。中国、インド、パキスタンに分布する。				
形態	根茎は鱗茎が束生しつらなる。葉は束生しつらなる。葉は少数、線形、扁平で、鈍頭、長さ 20～30 cm、幅 3～4 mm。花茎は高さ 30～50 cm。苞は鋭頭、膜質。花柄は長さ 1.5～3.5 cm。				
類似種					
生息場所					
繁殖	花期は8～9月。花は散形花序で白色。花被片は6個、長楕円状披針形、長さ5～6mm、先端はとがり、開出する。果実は蒴果で偏球形、長さ5mm。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 単子葉植物』を改変					